

令和2年度 農作物病虫害発生予察3月月報

令和3年(2021年)4月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
3.1	9.9	6.6	3.3	16.3	11.9	4.4	4.5	1.9	2.6
3.2	10.1	7.2	2.9	16.0	12.7	3.3	5.1	2.3	2.8
3.3	10.3	8.1	2.2	16.4	13.6	2.8	4.6	3.1	1.5
3.4	13.6	9.0	4.6	19.3	14.5	4.8	9.4	3.9	5.5
3.5	11.3	9.6	1.7	17.7	15.0	2.7	4.8	4.6	0.2
3.6	14.5	10.4	4.1	22.4	15.8	6.6	8.0	5.2	2.8
平均・計	11.6	8.5	3.1	18.0	13.9	4.1	6.1	3.5	2.6
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	3.1	54.5	21.0	33.5	18.7	23.5	△ 4.8		
3.2	0.0	22.6	△ 22.6	33.2	24.4	8.8			
3.3	19.0	25.0	△ 6.0	22.2	24.6	△ 2.4			
3.4	21.5	27.3	△ 5.8	27.9	25.0	2.9			
3.5	16.5	27.5	△ 11.0	35.4	25.3	10.1			
3.6	61.0	31.3	29.7	41.9	31.4	10.5			
平均・計	172.5	154.7	17.8	179.3	154.2	25.1			

II 作物の生育状況

- コムギ : 生育は旺盛で、出穂は平年に比べて5日程度早い。
- イチゴ : バラツキはあるが、第3～4果房が収穫時期、第5果房が開花など、生育はやや旺盛に推移している。
- タマネギ : 平年に比べ2月から3月の平均気温が高く、日照時間も長く、生育が前進化している。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作

2021年3月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
コムギ (調査ほ場数:17) うどんこ病、縞萎縮病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
黄斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.8%(前年17.6%)、発病茎率7.8%(前年7.8%)、発病度1.9(前年1.9)であった。	県内全域	中 86 少 86 計 172

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:20) そうか病	下旬の越冬病斑調査では、発生ほ場率5.0%(平年0.6%)、発病葉率0.2%(平年0.0%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 56
かいよう病	下旬の越冬病斑調査では、発生ほ場率15.0%(平年13.2%)、発病葉率1.7%(平年0.8%)、発病度0.5(平年0.4)、発病葉枝率2.7%(平年1.2%)で平年並みであった。	県内全域	少 169
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0%(平年16.0%)、寄生葉率2.0%(平年1.0%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 451
ナシ (調査ほ場数:9) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7%(平年24.6%)、発病枝率0.2%(平年0.3%)、発病芽率0.4%(平年0.2%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 59

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%(平年10.5%)、発病株率3.1%(平年1.4%)、発病葉率1.3%(平年0.5%)、発病果率0.1%(平年0.3%)で平年並みであった。	県内全域	多 5 少 5 計 10
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0%(平年11.5%)、発病株率3.4%(平年1.0%)、発病果率1.0%(平年0.2%)で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 5 多 5 少 15 計 25
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0%(平成17.9%)、寄生株率4.0%(平成1.3%)で平成に比べ多かった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 41
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0%(平成44.4%)、寄生株率16.3%(平成15.3%)で平成並みであった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚 5
			多 5
			少 41
計 51			
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0%(平成34.3%)、寄生株率4.2%(平成9.4%)で平成並みであった。主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	多 5
			少 10
			計 15
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.0%(平成26.0%)、寄生花率2.2%(平成3.4%)で平成並みであった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚 5
			中 10
			少 31
計 46			
タマネギ (調査ほ場数: 中旬28、下旬27) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1%(平成4.3%)、発病株率0.5%(平成0.4%)で平成に比べやや多かった。1a 当たり調査では、越年罹病株(一次感染株)の発生ほ場率17.9%(平成5.7%)、発病株数6.5(平成1.0)で平成に比べやや多かった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.4%(平成5.0%)、発病株率0.6%(平成0.3%)で平成に比べやや多かった。1a 当たり調査では、越年罹病株(一次感染株)の発生ほ場率11.1%(平成9.3%)、発病株数0.5(平成0.5)で平成並みであった。	県内全域	少 14
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成4.3%)、発病株率0%(平成0.8%)で平成に比べやや少なかった。1a 当たり調査では、発生ほ場率0%(平成8.9%)、発病株数0(平成12.0)で平成並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成6.8%)、発病株率0%(平成0.6%)でやや少なかった。1a 当たり調査では、発生ほ場率0%(平成15.4%)、発病株数0株(平成9.6株)で平成に比べ少なかった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.6%)、発病株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。1 a 当たり調査では、発生ほ場率7.1% (平年10.4%)、発病株数0.1 (平年0.4) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.7% (平年3.6%)、発病株率0.1% (平年0.2%) で平年並みであった。1 a 当たり調査では、発生ほ場率14.8% (平年16.1%)、発病株数0.5 (平年4.7) で平年並みであった。	県内全域	少 7
タマネギ ボトリチス属菌 による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.1%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
さび病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
軟腐病、萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所
TEL (083)927-4006
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp